



思いを込めて一句

第29回 新春市民川柳大会
1月18日 津山市総合福祉会館

市内外から147人の川柳愛好家が参加しました。参加者は事前に出された「風」「酒」「時効」など8つの題ごとに、それぞれの思いを込めて投句。合計で2,352句が寄せられました。

審査の後、8人の選者が題ごとに入選作を発表し、総合1位には「血管という一本の細い道」などを詠んだ福力明良さん（和気町）が選ばれました。

防災への決意込め放水アーチ

津山消防出初式
1月11日 吉井川河川敷



新春恒例の消防出初式には、市内各地域の消防団員や消防職員、少年消防クラブや婦人防火クラブなど約1,100人が参加し、防災への決意を新たにしました。雪が舞い寒風が吹く中、参加した消防団員などはきびきびとした動きでポンプ車や小型ポンプなど計105台を操作し一斉放水。7色のアーチが吉井川に架かると、観覧者から歓声が上がっていました。

再発見！ 中世歴史探訪の魅力

**中世山城「矢筈城」県史跡指定記念
特別シンポジウム**
12月20日 加茂町文化センター

「草薙氏と矢筈城を語る～その課題と展望～」をテーマにしたシンポジウムが開催されました。まず、5人の歴史研究家による研究報告が行われました。その後、加茂町小中原出身で福岡市歴史編集委員会の前原茂雄氏がコーディネーターとして、報告者5人とともに活発に討論。来場者約200人は熱心に耳を傾け、山城の研究をととした中世歴史探訪の魅力を感じた様子でした。

また、加茂町文化協会「民謡舞踊の会」による『矢筈城懐古』が4年ぶりに披露され花を添えました。



大盛況！ 作州とくとき市

第3回 作州津山ふるさと交流物産展
12月20・21日 地域交流センター



今年で3回目になる各地域の味覚や特産品を一堂に集めた物産展。品定めをしたり、お目当ての物を買求めたりする人々で会場は黒山の人だかりでした。食事コーナーでは今人気のB級グルメの津山「ホルモンうどん」と日生「カキオコ」の販売も行われ、順番待ちの行列ができるほどの大盛況。また「地域資源∞全国展開プロジェクト」（国の補助事業）で完成した新特産品が発表されました。

今月のフラッシュ

感謝の心を胸に二十歳の門出

第59回 津山市成人を祝う会
1月11日 津山総合体育館



小雪の舞うあいにくの天候でしたが、新成人936人の出席がありました。新成人の中から公募で選ばれた「成人を祝う会」実行委員の司会により式典は進行。桑山市長などの祝辞に続き、岩崎邦宏さん（神戸）と山本さくらさん（一方）が「両親やお世話になった人への感謝の気持ちを忘れることなく、成人としての誇りと自覚を持った大人に成長したい」と謝辞を述べました。式典後も再会と成長を喜び合う姿があちらこちらでいつまでも見受けられました。

